

令和6年度 新川みどり野高校 年間指導計画(シラバス)

学科	教科	科目(講座名)	対象学年	単位数	教科書	使用教材	
普通科・福祉職業科	地歴	歴史総合	全	2	明解 歴史総合(帝国書院)	明解歴史総合ノート(帝国書院)	
<p>学習の到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代社会の地域的特色と日本及び世界の展開に関して理解している。 ・近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察することができる。 ・見通しをもって学習に取り組み、問いを繰り返し洗練させていくなど、粘り強く取り組み、粘り強く取り組もうとしている。 							
学期	月	単元	学習内容		到達目標		
前期	4月	1部 歴史の扉 1章 歴史と私たち 2章 歴史的特質と資料	1節 資料を取り扱ってみよう 2節 歴史叙述とは何か考えてみよう	絵画・資料・数値など歴史における史資料の重要性と、その正しい読み解き方について理解している。 近代化に関わる史資料を読み解く技能を身に付けている。			
		2部 近代化と私たち 序章 近代化への問い	近代化に関わる史資料を読み解く技能を身に付けている。				
	5月	1章 江戸時代の日本と結び付く世界	1 アジアのなかの江戸幕府 2 成熟する江戸社会 3 清の繁栄と結び付く東アジア 4 アジア・アメリカに向かうヨーロッパ	18世紀のアジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易と、日本への影響について理解している。 「大航海時代」から「世界の一体化」へ至る交易の意義と地域の変容について考察し、自分の言葉で表現している。			
		2章 欧米諸国における近代化	1 イギリスの革命とアメリカの独立 2 フランス革命～ヨーロッパ近代の幕開け～ 3 フランス革命の影響と国民意識の芽生え 4 産業革命で変わる社会 5 イギリスの繁栄と国際分業制	市民社会と国民国家の形成、資本主義社会と国際分業体制確立の経緯を理解している。 市民革命および産業革命の経緯などから、諸改革の意義と現在社会との関わりを考察し、自分の言葉で表現している。			
	6月	3章 近代化の進展と国民国家の形成	1 1848年～近代ヨーロッパの転換点 2 イタリア・ドイツの統一とロシアの近代化 3 アメリカの拡大と第2次産業革命 4 帝国主義と世界の一体化	国民国家の展開と帝国主義による世界分割や移民の状況を理解している。 国民国家の形成・発展による対外戦争や差別・抑圧、帝国主義が人類に与えた変化について考察し、自分の言葉で表現している。			
		4章 アジア諸国動揺と日本の開国	1 「西洋の衝撃」と西アジアの変化 2 南・東南アジアの植民地化 3 ヨーロッパの日本接近とアヘン戦争 4 黒船の来航と日本の対応 5 新体制の模索と江戸幕府の滅亡	欧米諸国の進出によるアジア諸国の変容について理解している。 アジア諸国の変容を比較したり関連付けたりして考察し、「西洋の衝撃」の歴史的意義について自分の言葉で表現している。			
	7月	5章 近代化が進む日本と東アジア	1 新政府の誕生 2 近代国家を目指す日本 3 日本と清の近代化と日清戦争 4 列強の中国進出と日露戦争 5 日露戦争が与えた影響	明治維新とその後の日本の変化やアジア諸国の変容について理解している。 明治維新の歴史的な意義について、現代の日本への影響と関連付けて考察し、自分の言葉で表現している。			
	8月	3部 国際秩序の変化や大衆化と私たち 序章 国際秩序の変化や大衆化への問い	国際秩序の変化や大衆化に関わる史資料を読み解く技能を身に付けている。 資料から得た情報と知識を統合し、国際秩序の変化や大衆化を読み解く問いを表現している。				
	後期	10月	1章 第一世界大戦と日本の対応	1 ドイツの挑戦とバルカン半島の緊張 2 総力戦となった第一次世界大戦 3 ロシアの革命と大戦の終結	国際関係の視点を軸に、第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯と、参戦各国の社会の変化について理解している。 第一次世界大戦の総力戦体制下において、列強の戦闘員・列強の非戦闘員・植民地や従属地域の人々がそれぞれどのような目的で戦争に協力したのかを考察し、自分の言葉で表現している。		
			2章 国際協調と大衆社会の広がり	1 ヴェルサイユ体制の成立 2 東アジアの民族自決の行方 3 中東・インドの民族自決の影響 4 ヨーロッパの復興と大衆の政治参加 5 大衆社会の出現とアメリカの繁栄 6 日本における大衆社会の形成	ヴェルサイユ体制によって形成された国際秩序と、国際社会や各国に生じた政治・社会・文化の変化について理解している。 新しい国際秩序と大衆社会の特徴について考察し、自分の言葉で表現している。		
11月		3章 日本が行方と第二次世界大戦	1 世界恐慌が与えた影響 2 ファシズムの台頭と拡大 3 政党政治の断絶と満州事変 4 日中戦争のはじまり 5 第二次世界大戦の展開 6 戦局の悪化と被害の拡大 7 第二次世界大戦の終結とその惨禍	世界恐慌から第二次世界大戦の終戦に至るまでの経緯について、大衆とマスメディアの関わりに着目しながら理解している。 ファシズム体制の形成から終戦に至るまで、ドイツや日本で大衆がなぜ戦争に協力していったのかを考察し、自分の言葉で表現している。			
		4章 再出発する世界と日本	1 戦後の新たな国際秩序 2 冷戦の始まり 3 日本撤退後の東アジア 4 日本の改革と独立の回復	冷戦および冷戦構造の形成と、国連を中心とする平和へ向けた新たな国際秩序について、日本と関連付けながら理解している。 国際連合を中心に、第二次世界大戦以前と以後の国際関係を比較することで、戦争の経験が人々に何をもたらしたのかを考察し、自分の言葉で表現している。			
12月		4部 グローバル化と私たち 序章 グローバル化への問い	グローバル化に関わる史資料を読み解く技能を身に付けている。 資料から得た情報と、中学校までの学習で得た知識を統合し、グローバル化を読み解く問いを表現している。				
	1月	1章 冷戦で揺れる世界と日本	1 アメリカ・ソ連の緊張と緩和 2 冷戦下における日本の復興 3 第三勢力の形成と脱植民地化 4 中東戦争とパレスチナ問題	55年体制の形成から高度経済成長に至る日本の動きを、冷戦下の国際情勢を踏まえながらその中に位置づけて理解している。 冷戦下の日本と世界の動向について、政治・経済の関連や諸地域間の比較を通して多面的に考察し、自分の言葉で表現している。			
		2章 多極化する世界	1 揺らぐアメリカと先進各国の変化 2 「経済大国」日本の模索 3 経済発展に取り組むアジア・南米諸国 4 イスラームの復興と冷戦への影響	1960年代から80年代を中心に、冷戦下における各国の選択と経済成長について理解している。 各国の選択を比較し、「東アジアの奇跡」が起こった要因や世界史における意義について考察し、自分の言葉で表現している。			
2月	3章 グローバル化のなかの世界と日本	1 冷戦の終結と変わる世界構造 2 冷戦の終結が与えた世界への影響 3 超大国アメリカと中東情勢 4 国際環境の変化と日本 5 グローバル化による国際社会の変容	冷戦終結の過程とグローバル化の特質について理解している。 グローバル化の進展や地域統合、ナショナリズムの強化について各地域を比較して考察し、その特質や問題点を自分の言葉で表現している。				